

No. 367
2002年
2月

OR学会だより

社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル 3階
電話(03)3815-3351 代 Fax(03)3815-3352
http://www.orsj.or.jp/

● 日本オペレーションズ・リサーチ学会 学生論文賞の論文募集

OR学会の発展は、将来の優秀なOR研究者およびOR実務担当者の養成いかにかかっています。その一助として、日本OR学会は、昭和58年度より、ORに対する学生の関心を高めかつ大学におけるOR関係学科間での情報交流にも役立てるため、学生会員の卒業論文、修士論文の中から、毎年優秀なものを選び、「日本オペレーションズ・リサーチ学会学生論文賞」として表彰することを実施しております。

つきましては、下記応募要領で広く学生会員から論文を募集することとなりましたので、ふるってご応募ください。また、指導教官(教員)の方々にもぜひご勧誘くださいますようお願い申し上げます。

[応募要領]

1. 応募資格 2002年3月に学部を卒業、あるいは修士課程を修了する会員で、ひきつづき学生会員あるいは正会員である者。
2. 応募手続
 - (1)提出書類 ①論文要約(A4判で3枚以内)2部
②学生会員である指導教官(教員)の推薦状1部(推薦状は学会所定の用紙としますので、学会事務局宛ご請求ください)
 - (2)提出先 日本OR学会 表彰委員会
 - (3)応募締切 3月31日(必着)
3. 表彰 受賞者には、OR学会研究発表会その他適当な機会に賞牌を授与するとともに、受賞論文の要約をOR誌に掲載して表彰する。
4. その他 選考過程で第2次の受賞候補論文となったものについてはその全文のコピーとOR誌掲載用の論文要約(学会指定)を各3部提出しなければならない。

● 平成14年度通常総会

日時: 4月19日(金) 15:00~17:00
場所: 学士会分館(赤門)
(営団地下鉄丸の内線本郷三丁目下車)

● 第47回シンポジウム

日時: 平成14年3月26日(火) 13:00~17:45
場所: 富山国際会議場 大手町フォーラム 多目的会議室201(富山市大手町1番2号)(http://www.ticc.co.jp/ をご覧下さい。)

テーマ: 「これからの情報通信とOR」

情報通信分野における最近のトピックスから近未来のネットワーク社会像に至る広範囲な話題より、ORの課題や活用対象などこれからのORと情報通信について各分野の研究者にご報告頂きます。

実行委員長: 片山 勤(富山県立大学)

プログラム:

- (1)「情報通信技術の動向と近未来」
鳥山朋二(NTT情報流通基盤総合研究所NTT北陸サテライト・ラボ)
- (2)「モバイル・アドホックネットワーク」
間瀬憲一(新潟大学工学部情報工学科)
- (3)「インターネットにおけるコンテンツ配信技術の最新動向」
中川郁夫(インテック・ウェブ・アンド・ゲノム・インフォマティクス(株))
- (4)「フロー制御の性能解析におけるOR理論を用いたアプローチ」
小沢利久(駒沢大学経営学部経営学科)

協賛学会: (社)情報処理学会, 日本応用数理学会, (社)日本経営工学会, 日本シミュレーション学会, 電子情報通信学会

事前振込み参加費: 正・賛助会員3,000円, 学生会員1,000円, 非会員4,000円

当日申込み参加費: 正・賛助会員4,000円, 学生会員2,000円, 非会員5,000円

*事前振込みは2月号に綴込みの振替用紙にて3月15日(金)までにお振込み下さい。折り返し、メール又はFAXにて受付番号をお知らせします(欠席の場合、参加費の返金はできません。シンポジウム予稿集を送付致します)。

問合せ先: 小林 香(富山県立大学)

Tel.0766(56)7500(内線482)

E-mail: kaori@pu-toyama.ac.jp

* 学会ホームページ <http://www.orsj.or.jp> をご覧下さい。

●平成 14 年春季研究発表会

日 程:

平成 14 年 3 月 27 日(水), 28 日(木) 研究発表会
3 月 29 日(金) 見学会

場 所: 富山国際会議場 大手町フォーラム (富山市
大手町 1 番 2 号) (<http://www.ticc.co.jp/> をご覧
下さい)

特別テーマ: 「地方分権と OR」

実行委員長: 中島恭一 (富山県立大学)

副実行委員長: 寺岡義伸 (大阪府立大学), 石井博昭
(大阪大学)

特別講演: 一般公開 (入場無料)

3 月 27 日(水) 16:10~17:30
多目的会議室 (2 階)

「日本海学のすすめ」

中井徳太郎 (富山県生活環境部長)

「深層水のひみつ」

古米 保 (富山県立大学教授)

3 月 28 日(木) 10:50~11:50
メインホール (3 階)

「前田藩と地方分権」

嶋崎 丞 (石川県立美術館館長)

事前振込み参加費: 正・賛助会員 6,000 円, 学生会員
2,000 円, 非会員 8,000 円

当日申込み参加費: 正・賛助会員 7,000 円, 学生会員
3,000 円, 非会員 10,000 円

登壇料: 非会員のみ, 参加費と別途 2,000 円/件 (本
学会の許可が必要)

* 事前振込みは 2 月号に綴込みの振替用紙にて 3 月
15 日(金)までにお振込み下さい。折り返し, メール
又は FAX にて受付番号をお知らせします (欠席
の場合, 参加費の返金はできません。アブストラク
ト集を送付致します)。

懇親会: 3 月 27 日(水) 18:00~

富山国際会議場大手町フォーラム 多目的会議室 2
階 (懇親会費: 6,000 円)

見学会: 3 月 29 日(金)

見学先: スギノマシン(株), ほたるいかミュージアム,
富山県水産試験場, 富山の酒蔵 (榊田酒造店) など
(見学会費: 3,000 円)

問合せ先: 富山県立大学工学部 高木 昇

(〒 939-0398 富山県射水郡小杉町黒河 5180)

Tel. 0766(56)7500 (内線 461)

Fax. 0766(56)8022

E-mail: or2002@pu-toyama.ac.jp

宿泊に関するお願い: 富山市の研究会開催補助制度が
あり, 補助金額は参加者の富山市延べ宿泊数によっ
て決定されます。研究発表会開催期間中は, 富山市
のホテルをご利用下さいますようお願い申し上げま
す。

* 詳しくは, 下記の研究発表会ホームページを参照下
さい。 ([http://www.kanazawa-gu.ac.jp/~
kuwano/or2002spring/normal.html](http://www.kanazawa-gu.ac.jp/~kuwano/or2002spring/normal.html))

●第 9 回企業事例交流会

趣 旨: 企業事例交流会とは企業の OR 実務担当者
に, OR 実施例 (問題の発生からさまざまな苦労を経て
解決に至る苦労話など) を, 新規研究の研究発表と
いう形式ではなく, OR の適用事例という位置付け
で発表していただくものです。

日 程: 平成 14 年 3 月 27 日(水)

場 所: 富山国際会議場 大手町フォーラム

参加方法: 研究発表会のセッションの一部として行
いますので, 研究発表会参加の手続きをして下さい。

問合せ先: 富山国際大学地域学部地域システム学科
北野孝一

E-mail: kitano@tuins.ac.jp

●第 48 回シンポジウム

日 時: 平成 14 年 9 月 10 日(火)

場 所: 公立はこだて未来大学 (函館市亀田中野町
116 番地 2)

テーマ: 「マルチエージェントシステムと OR」

近年人工知能分野での分散知能研究や複雑系・複雑
系工学研究を通して, マルチエージェントシステムの
有効性が明らかにされつつある。特に対象が大規模・
複雑な問題領域に対してのアプローチとして, マルチ
エージェントシステムによる問題領域の捉え方や問題
解決手法の提案は重要性を増しつつある。特に OR の
分野では実環境に則した大規模・複雑な問題の解決を
如何に行っていくかが重要であり, マルチエージェン
トシステムが有効な場合が多く考えられる。本シンポ
ジウムでは OR 学会誌 (vol. 46, No. 10, 2001) に特集
されたマルチエージェント実験経済学の著者を中心に

マルチエージェントシステムの専門家による最新の研究成果の発表と、パネルディスカッションを行う。
実行委員長：大内 東（北海道大学）

●平成 14 年秋季研究発表会

日 程：

平成 14 年 9 月 11 日(水)、12 日(木) 研究発表会
 9 月 13 日(金) 見学会

場 所：公立はこだて未来大学（函館市亀田中野町 116 番地 2）

特別テーマ：「フロー型社会システムと OR」

電力エネルギーシステム、交通システム、情報システム etc は、いずれもネットワーク・フローとしてモデル化することが可能である。本特別テーマではこれらの社会システムについて、フローモデルとしての問題設定とその解決策に基づく OR 的視点からの研究成果について発表していただき、問題解決の可能性を探る。

実行委員長：大内 東（北海道大学）

●平成 13 年度第 4 回 OR セミナーのご案内 「ロジスティックスの OR：拠点設計と輸配送計画の最前線」

開催趣旨：

製造業からサービス産業まで、サプライチェーンマネジメント中で、商品やサービスとそれに関連する情報の発生地点から消費地点に至るまでのフローと保管を、効率的かつ効果的に計画、実施、統制することを目的とするロジスティックスにおいて、OR の活用は不可欠な要素と言えます。特に、近年の情報技術の進歩と相俟って OR を活用したさまざまなソフトウェアが実用化され、産業界において大きな役割を果たしています。

今回のセミナーでは、その中でも拠点設計と輸配送計画の分野でパッケージやソリューションを提供している有力ベンダーの方を講師にお招きし、各社の製品やソリューションサービスの特色と実績をユーザー事例を加えてお話していただきます。

今後の導入やコンサルティングについて検討されている企業の実務家の方々はもとより、研究者の方々、将来この分野に進むことを考えている学生諸君にとっても、最新の実務的なレベルを実感していただき、具体的な理解を進める上で大いに参考になるものと思います。

日 時：平成 14 年 2 月 27 日(水) 10：00～16：20
場 所：アルカディア市ヶ谷 私学会館
 東京都千代田区九段北 4-2-25（JR、地下鉄有楽町線・新宿線・南北線 市ヶ谷駅前）

プログラム：

(1)10：00～10：30 「ロジスティックスの問題解決と OR」

㈱フレームワークス取締役 高井英造（オーガナイザー）

(2)10：30～12：00 「SABLINA：サプライチェーンネットワーク設計と BI の融合」

・事例発表「アウトソース、サービス水準、ROA の競争戦略と事例」

東洋ビジネスエンジニアリング㈱ NB 推進本部 SCM コンサルティング部部長 佐藤泰現

(3)13：10～14：40 「最適拠点配置ソフト SFLO の開発と適用例」

㈱サイテック・ジャパン 代表取締役 伊倉義郎

・事例発表「ロジスティックスシステムコンサルテーション：拠点配置・機能最適化検討サービス」

日揮㈱ 第 2 事業本部ビジネスソリューション事業部ロジスティックス システムズエンジニアリング部 担当マネジャー 矢野恭司

(4)14：50～16：20 「ロジスティックスの現状と最適化ツール『CAPS』」

沖電気工業㈱ エンタープライズ・ソリューション・カンパニーマネジャー 後藤一孝

・事例発表「CAPS による拠点設計と輸配送計画の適用事例」

(1)拠点設計の事例 センコー㈱ 第 1 営業本部 主務 釜屋大和

(2)輸配送計画の事例 沖電気工業㈱ エンタープライズ・ソリューション・カンパニーマネジャー 後藤一孝

テキスト：当日配布

参加費：正・賛助会員 15,000 円、学生会員 1,500 円、非会員 18,000 円

申込先：

㈱日本オペレーションズ・リサーチ学会事務局
 Tel.03(3815)3351 Fax.03(3815)3352
 E-mail: kenkyu@orsj.or.jp

*前日までに E-mail または FAX にてお申込み下さい。(2月号に申込書の綴込みがあります。)

● 研究部会・グループ開催案内

〔評価のOR〕

・第13回 学生大会

日 時：2月16日(土) 13:30~16:00

場 所：政策研究大学院大学3階教室E (〒162-8677 新宿区若松町2-2)

都営新宿線あけぼの橋駅下車，徒歩10分（あるいは，都営地下鉄・大江戸線・若松河田駅下車，徒歩4分），東京女子医大の隣，旧税務大学の跡地

テーマ：

- (1)「Conjoint 分析と AHP 分析の比較研究」
島村智晃（日本大学）
 - (2)「複素一対比較行列のウェイト推定法」
鬼頭正浩（日本大学）
 - (3)「非ゼロ和ゲームによるハッカーの行動分析」
荒川元貴（日本大学）
 - (4)「DEA による教育システムの効率性評価」
鈴木洋臣（日本大学）
 - (5)「ANP, MTM による学生・教員の成績相互評価」
窪川亮平（日本大学）
 - (6)「AHP を用いた需要予測の研究」
杉浦裕昌（静岡大学）
 - (7)「ネットワーク型評価手法の一提案」
岡野智史（静岡大学）
 - (8)「Regression Analysis for Production Process Inefficiency」
Bellamine Ilyes（神戸大学）
 - (9)「プロ野球選手の DEA による評価」
住舎俊宏（成蹊大学）
 - (10)「ピザ店における需要予測と在庫管理」
高嶋成行（成蹊大学）
 - (11)「非線形時系列モデルのカルマンフィルタ近似」
中村 剛（成蹊大学）
 - (12)「企業評価法」
星野健一（成蹊大学）
- 問合せ先：日本大学生産工学部数理情報工学科
篠原正明（〒275-8575 習志野市泉町1-2-1）
Tel.047(474)2672
E-mail: m7sinoha@cit.nihon-u.ac.jp
Homepage: http://shinohara.su.cit.nihon-u.ac.jp

〔待ち行列〕

・第162回

日 時：2月16日(土) 14:00~16:30

場 所：東京工業大学 西8号館 (W) 809号室

テーマと講師：

- (1)「待ち行列公式 $W=ZL$ とその周辺について」
松井正之（電気通信大学）
 - (2)「M/G/1 型マルコフ連鎖の定常分布およびその裾の指数減少について」
中川健治（長岡技術科学大学）
- 問合せ先：東京工業大学大学院情報理工学研究科 数理・計算科学専攻 三好直人
Tel.03(5734)3218
E-mail: miyoshi@is.titech.ac.jp

● 会合案内

〔第215回 新宿OR研究会〕

日 時：2月19日(火) 12:00~13:30

場 所：東天紅会議室（新宿センタービル53F）

テーマ：「科学史家 J. D. バナールと OR」

講 師：姜 雄氏（東京大学人文社会系研究科）

参加費：3,000円

問合せ先：日本OR学会事務局

● 他学協会案内

・第42回 人工知能セミナー（協賛）

主 催：(社)人工知能学会

テーマ：「バイオインフォマティクスの世界」

日 時：2月28日(木) 10:30~17:00

場 所：機械振興会館（東京都港区芝公園3-5-8）

問合せ先：(社)人工知能学会事務局

Tel.03(5261)3401

E-mail: account@ai-gakkai.or.jp

* 詳しくは、<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsai/seminar/> をご覧下さい。

・生産システム部門講演会2002（協賛）

主 催：(社)日本機械学会

日 時：3月27日(水)

場 所：早稲田大学大久保キャンパス（理工学部55号館）

問合せ先：(社)日本機械学会 FA 部門

Tel.03(5360)3504

E-mail: nagahara@jsme.or.jp

* 詳しくは、<http://www.jsme.or.jp/fad/> をご覧下さい。

・第21回 シミュレーション・テクノロジー・コン
ファレンス (協賛)

主催：日本シミュレーション学会

日程：6月19日(水)～20日(木)

場所：東京電力(株)技術開発センター (横浜市鶴見区
江ヶ崎4-1)

問合せ先：日本シミュレーション学会事務局

Tel.03(3239)4738 Fax.03(3239)4714

E-mail: simul@pp.iij4u.or.jp

*詳しくは、<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsst/> をご覧下
さい。

・The 6th Pacific Asia Conference on Information
Systems (PACIS_2002)

太平洋アジア地域情報システムに関する国際会議
2002 (協賛)

主催：経営情報学会

日程：9月2日(月)～4日(水)

場所：明治大学リパティタワー

問合せ先：太平洋アジア地域情報システムに関する国
際会議2002事務局

Tel.03(3234)4704 Fax.03(3234)4456

*詳しくは、<http://pacis2002.org> をご覧下さい。

● IFORS 2002 視察団へのお誘い

2002年はIFORSの年です。今回は、英国・エジンバラにて7月8日から12日の間に開催されます。OR学会では、IFORS参加とロンドン、エジンバラ近郊の企業見学をセットにしたツアーを企画しております。毎回15名から25名の代表団を派遣しておりますが、皆さまの参加をお待ちしております。この記事がOR誌に掲載される頃にはもっと確かな情報が提供できると思いますが、とりあえずは以下のような素案で現地と交渉中です。

期 間：2002年7月2日～7月14日…13日間

日程概略：

7月2日 英国へ向け出発

7月3日～5日 英国企業訪問

視察候補先：British Airways (OR Group), Cap Gemini, KPMG, Yamazaki Machinery UK Ltd., Omron Electric Co. Ltd., Warwick Business School, SONY United Kingdom, Fuji Electric Scotland Ltd., Mitsubishi Electric Air Conditioning Systems Europe Ltd.

7月6日～7日 資料整理日

7月8日～12日 IFORS参加

7月13日 成田へ、14日 成田(関西空港)着

参加費用：約¥500,000—(予定)

IFORS登録料は(まだ知らされておられません)は別途かかります。

*ご質問のある方は、香田正人(国際委員会、筑波大学)までお尋ねください。

FAX: 0298-55-3849

E-mail: koda@shako.sk.tsukuba.ac.jp

*大会のWEBサイト <http://www.ifors2002.org/> をご参照下さい。